安城産業文化公園デンパーク
第6次中期計画

令和6年度（2024年度）～令和10年度（2028年度）

公益財団法人安城都市農業振興協会

はじめに

安城産業文化公園デンパーク（以下デンパーク）は、「都市と農村との交流の場及び憩いと安らぎの場を市民に提供するとともに、農業を始めとする産業の振興に寄与する。」（安城産業文化公園の設置及び管理に関する条例）ことを目的として平成9年（1997年）4月29日にオープンしました。

財団法人安城都市農業振興協会（以下、協会）は、デンパークオープン当初より安城市からの委託を受け運営管理を行ってきました。平成18年（2006年）からは指定管理者制度による指定管理者となり、平成25年（2013年）4月からは公益財団法人へと体制を移行して、デンパークの設立目的を果たすべく花とみどりを中心とした多様な事業を展開してまいりました。

デンパークはオープンから26年の歳月を経て、令和6年度（2024年度）には累計入園者数が1,500万人を達成する見通しとなっております。

長年、市民の憩いの場として親しまれてきただけでなく、安城市の貴重な観光資源として県内外から来園者を呼び込み、各種イベントでの利活用の拠点としての役割も果たしています。

こうした協会の取り組みは安城市からも評価され、2024年度からの5年間も引き続き指定管理者としてデンパークの管理運営を担うこととなりました。

当協会は、期を同じく2024年度から開始される第9次安城市総合計画での目指す都市像「ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 安城」を具現化する施設となるべく、2024年度から2028年度までの5年間を対象とした第6次中期計画を策定しました。

デンパークの歩みと今後

創設の目的

都市と農村との交流の場及び、憩いと安らぎの場を市民に提供するとともに、農業を始めとする産業の振興に寄与する

（安城産業文化公園の設置及び管理に関する条例）

平成9年（1997）～	平成17年（2005）～	平成25年（2013）～	平成31年（2018）～	令和6年（2024）～
・平成9年　グランドオープン 同年120万人来園	・平成17年　出捐団体より常務理事招聘開始	・平成25年　公益財団法人へ移行	・平成31年　ジャブジャブ池リニューアル、ディノランドオープン	・令和6年　入園者1500万人達成（予定）
・平成10年　日本植物園協会に入会	・平成18年　指定管理者制度にて協会が指定管理者	・平成27年　入園者1000万人達成	・令和2年　花の大温室「フローラルプレイス」リニューアルオープン　コロナ休園	・令和9年　道の駅「デンパーク安城」リニューアル（正面ゲートとの一体化等を検討・実施）
・平成13年　道の駅「デンパーク安城」オープン	・平成19年　開園10周年ローラー滑り台「スカイスライダー」新設	・平成29年　開園20周年	・令和4年　開園25周年　入園者1400万人達成	・令和9年　開園30周年
・平成16年　入園者500万人達成	・平成22年　入園者800万人達成	・平成30年「あそボ～ネ」、「リーチ・フォー・ザ・スカイ」新設　入園者1200万人達成		
勃興期	変革期	安定期	改革期	飛躍期

地域に愛されるテーマパークとして安定的な集客を維持しつつ更なる飛躍が必要

デンパークの価値

３つの要素を併せ持ち、身近な日常の中で癒しと幸せを実感できる場所を提供

現状認識と課題及び方針

現状	課題	方針
指定管理者としての安定性	予算思考排除・戦略構築	専門部署の立ち上げ（P24参照）
子育てファミリーとシニア層が中心	若者・中年世代への訴求	宣伝方法の見直しによる情報発信の強化
入園者数頭打ち	認知拡大・新規アイデア	平日集客増加のための企画及び営業強化 観光資源の掘り起こし 魅力ある商品・体験の販売
四半世紀の歴史	施設の経年劣化への対応	安全安心でより快適な利用しやすい施設・設備の改修 四季の花木園エリアの改修
業務の専門性が高い	組織の柔軟化・人材流動性	ウェルビーイング経営の推進 DX化・組織編制の見直しによる業務の効率化

＋

新型コロナウイルス感染症の流行

→ **身近な触れ合いの中での「幸福感」と「健康」の大切さを再認識**

デンパークの存在や価値が再認識される環境にあるも、ポテンシャルを活かしきれていない

長期ビジョン

キャッチコピー

「やっぱいいじゃん！　デンパーク

～あなたの幸せを見つけられる場所～」

現状の課題を解決して、お客様により愛される公園として飛躍するために、デンパークの次の10年を見据えて長期ビジョンを作成して運営に当たります。「花とみどりのデンパーク」、「子どもも楽しいデンパーク」、「楽しく心豊かに過ごせるみんなのデンパーク」等過去の方針に加え、開園30周年の節目に向けて、地元を中心に幅広い地域や世代のお客様に愛され続ける身近な存在として、デンパークの良さを再確認していただくことを三河弁で表現し、デンパークの目指す姿としました。

ビジョン（あるべき姿）

・花とみどりのテーマパークとして多くの人に認知され、憩いと幸せを求め訪れる場所として、真っ先に選択肢にあがる公園となること

・他の観光施設と連携しながら、安城市の観光施設として存在感を発揮し、県の観光の盛り上げ役となること

・都市と農業が共存し、産業の発展につながる姿を提示できる公園となること

・従業員が心から誇れる施設であり続けること

ミッション（今、やるべきこと）

・花とみどりに囲まれた、五感で四季を感じられる公園
・誰でも安全安心に楽しめる優しい公園
・世代を超えて、笑顔でみんなが幸せになれる公園
・何度でも気軽に訪れたくなる心地よい公園
・従業員が笑顔で働きがいを感じられる公園

～とする

中期計画の基本方針

これまでの事業体系や枠組みは維持継続し、さらにデンパークの魅力を高め長期ビジョンを実現するため、下記の8つの方針を設定しました。

【方針1】園内外施設及びエリアの更なる活用

【方針2】四季を通して安定した来園者の獲得

【方針3】より快適で利用しやすい安全安心な施設への改修と整備

【方針4】積極的な花とみどりに関する情報発信及び来園者との交流

【方針5】魅力ある商品（モノ）及び体験（コト）の販売

【方針6】収益性の高い新しい事業へのチャレンジ

【方針7】観光拠点としての地域との連携

【方針8】ウェルビーイング経営*の推進

中期計画の基本方針

【方針1】園内外施設及びエリアの更なる活用

（１）既存施設及びエリアの有効活用

四季の花木園エリア、半場川エリア等主要施設及びエリア以外のスペースを活用し、アウトドア体験やドッグランの試行により、お客様のニーズに合わせた新たなイベントや体験の場として最大限有効活用します。

また、屋外エリアを活用した幼児・児童向け体験プログラムやイベント、園内を広域に活用した大人向けの謎解きラリー等幅広い年齢層へ魅力ある催事を提案します。

（２）既存施設及びエリアを有効活用した集客力のあるイベントの開催

平成31年3月に鉄砲山（不思議の森）山頂にオープンしたディノランドの魅力を更に高め、集客力の高いイベントとして運営します。

また、ディノランド以外の新たなイベントも併せて検討します。

【方針2】四季を通して安定した来園者の獲得

（１）多面的な楽しさの提供

全天候型施設のデンパークは、花とみどりの繁忙期以外の季節（夏・冬）にも、イベント・体験・飲食・物販等多面的な楽しさをお客様へご提供し入園者の底上げをします。

（２）四季を通じた企画や営業の強化

四季を通じては、平日集客増加のための企画（講座、ラーケーションの日、平日パスポート等）、団体営業、「恋人の聖地」を活かした若者を引き寄せる企画等を強化します。

（３）周年記念事業の着実な実施

令和9年に開園30周年を迎えるのに先駆けて、周年記念ソフト事業の企画を魅力的な内容にするため、令和6年度より計画的に検討を始め、周年時での確実な実施に繋げます。

【方針3】より快適で利用しやすい安全安心な施設への改修と整備

幅広い年齢層の方々にご来園いただくため、これまで以上に植栽、施設及び設備の改修と整備に力を入れていきます。

（１）時代（トレンド）に合わせた魅力ある植栽エリアへリニューアル

より魅力的な植栽エリアになるよう、各ガーデンを時代のトレンドに合わせて計画的にリニューアルします。

（２）園内既存施設の充実及び利便性向上

①夏場でも楽しめるよう遮熱対策を進めたジャブジャブ池周辺設備の充実

②雨天に対応できる施設や設備の充実

③デジタル化などによる園内設備の利便性向上

電子チケットや園内アプリの更なる活用、電子案内板やデジタルサイネージの設置等

（３）魅力あるハード事業整備の立案及び提言

令和9年に開園30周年を迎えるデンパークは、クラブハウス・BBQガーデン「ピクニック」を含む四季の花木園エリアについて、体験やアウトドア事業をより充実させるため、施設整備や設備充実に関する立案及び提言をします。

※（２）～（３）は安城市へ提案、要望し、計画的に進めていきます。

【方針4】積極的な花とみどりに関する情報発信及び来園者との交流

（１）積極的な花とみどりに関する情報発信

デンパークが持っている植物園としての側面、例えば、樹木や宿根草の新品種の導入、希少品種の収集と育成など、特定植物拠点園としての活動内容を積極的に発信、紹介し、認知度を高めていきます。また、珍しい植物、話題性のある未公開の植物を展示し、積極的にメディアやSNSなどで情報発信します。開園30周年に向けても話題性の高い植物の公開へ取り組みます。

中期的な取り組みとして、植物データベースを作成し、データを活用した花の情報発信も行っていきます。

（２）花とみどりを起点にした来園者との交流

園内の植栽及び樹木、花壇、大温室内の植物を紹介する植物ガイドの充実及び普及、子どもを対象とした体験学習の充実により来園者と交流する場を増やし、園芸愛好家だけでなく子どもや初心者へもデンパークの花とみどりの魅力を伝えていきます。また、園内の花とみどり、自然を感じられるアウトドア講座を開催することで幅広いお客様へ花とみどりの魅力を伝えていきます。

（３）宣伝方法の見直しによる情報発信の強化

①SNS（インスタグラム、X、Facebook、LINE、YouTube等）を活用した有益な情報発信による広報宣伝の強化

②HPのリニューアルによる情報発信の強化

【方針5】魅力ある商品（モノ）及び体験（コト）の販売

（１）集客力の高い魅力的な商品（モノ）の販売

集客力の高いイベントや催事に合わせて、キャラクターグッズに留まらない魅力ある商品（モノ）を販売していきます。

（２）オリジナル商品の開発による販売強化

デンパークオリジナル商品（ステーショナリー、日用品など）の開発によるデンパークブランドの確立強化を行い、オリジナルお土産として推奨していきます。また、安城産いちじくガトーバーに代わるオリジナルお土産を開発し、来園時のお土産のみならず、ふるさと納税やお中元・お歳暮、外部での出店など幅広く販売を強化していきます。

（３）魅力ある飲食新メニューの開発強化（テナント含む）

地元食材や恋人の聖地を活用した魅力ある飲食の新メニューを開発します。また、イベントや催事とのコラボレーションメニューなど来園者のニーズに合った商品の開発も強化していきます。

（４）魅力ある体験（コト）の販売

単純に商品（モノ）を販売するということだけではなく、デンパークという場所で誰と何を体験（コト）したかという、より魅力的な「コト」を販売していきます。

【方針6】収益性の高い新しい事業へのチャレンジ

市場動向やトレンド把握など常に高いアンテナを張って情報収集し、収益性の高い新たな事業へ取り組みます。

【方針7】観光拠点としての地域との連携

（１）地域団体、企業、生産者等との連携

①地域団体・企業と連携したイベント及び展示会の開催強化

②他団体及びメーカーとのコラボレーション企画の実施

③地元農産物を使用した新しい体験教室の強化充実

④園内資源を活用したイベントや体験の実施

⑤市内外観光施設及びエージェントとの連携

（２）観光資源の掘り起こしによる来園者の獲得

園内に埋もれている観光資源や過去に人気のあった観光資源を発掘し、来園者獲得のために活用します。また、安城市及び周辺の観光資源と協調して来園者の獲得を図ります。

（３）地域の観光拠点としてのインフラの整備

道の駅「デンパーク安城」のリニューアル改修計画を積極的に発案し、管理・運営へ参画します。

また、交通インフラの整備による利便性向上を図るため、オンデマンド交通（予約により運行する移動サービス）や市内観光周遊バスの運行など発案します。

※（３）は安城市へ提案、要望し、計画的に進めていきます。

【方針8】ウェルビーイング経営*の推進

現在、働き方・休み方改革が推進され余暇時間の充実が推奨される中で、限られた人員で長期ビジョンを実現し数値目標を達成していくために、着実に人材育成及び業務改革を進めます。

（１）計画的な人材育成

人材育成計画書を作成の上、職員の確保と育成を強化し、中長期的に安定的な経営を行います。また、人事評価制度や各種研修体系の見直しを進め、経営感覚のある人材を育み組織の成長へ繋げていきます。

（２）DX化による業務の効率化

業務フローの確認から業務の課題抽出を行い、対象業務を仕分け、DX化を実施することで業務の効率化を図ります。

（３）組織編制の見直しによる業務の効率化

業務フローの確認から非効率業務の洗い出しを行い、組織及び業務を見直すことで効率的な運営を図ります。

＊ウェルビーイングとは・・・「ウェルビーイング（well-being）」は、健康、幸福、福祉などに直訳されます。このことばが初めて登場したのは、1946年の世界保健機関（WHO）設立時です。ウェルビーイングの概念として有名なものに、「PERMA」という指標があります。これは、「ポジティブ心理学」という自己実現理論を唱え発展させた、マーティン・セリングマンによって考案されたものです。人は以下の5つの要素（P＝ポジティブ感情　Positive emotion、E＝熱中　Engagement、R＝人間関係　Relationship、M＝意義　Meaning、A＝達成感 chievement）を満たしていると幸せである、とするもので、頭文字をとって「PERMA（パーマ）」と呼ばれています。

中期において達成すべき数値目標①

中期計画において達成すべき項目を、入園者数、収益、顧客満足度とし、それぞれ5年間に達成すべき目標値を下表のように設定しました。

①入園者目標

（単位：万人）

区　分	現状値	目標値				
年　度	2023	2024	2025	2026	2027（30周年）	2028
入園者数	50（見込値）	53	54	55	60	55

②収益計画

（単位：百万円）

区　分	現状値	目標値				
年　度	2023	2024	2025	2026	2027（30周年）	2028
指定管理委託料（道の駅含む）	332	407	420	424	425	434
入園料	185（見込値）	195	197	200	210	200
受講料・施設利用料等	64（見込値）	65	66	67	70	67
物品販売等事業	110（見込値）	112	114	116	120	116
合計（その他含む）	731（見込値）	819	839	851	871	861

中期において達成すべき数値目標②

③顧客満足度

（数値は「満足」を含む上位2項目の合計数字／10月実施）

（単位：%）

区　分	現状値	目標値				
年　度	2023	2024	2025	2026	2027（30周年）	2028
市民アンケート（デンパーク）	73	–	74	–	75	–
来園者アンケート（花とみどり）	87（22年度数値）	90	91	91	92	92
来園者アンケート（飲食）	80（22年度数値）	82	83	84	85	85
来園者アンケート（イベント）※	–	（82）	（83）	（84）	（85）	（85）
来園者アンケート（接客態度）	62（22年度数値）	70	75	80	85	90

※現状値無い為仮の数値、2024年度アンケート結果により再設定

協会では、隔年実施していた来園者アンケートを毎年実施し、公園運営にお客様の意向を反映し、常にお客様のニーズに応えていきます。

事業体系図と基本方針

公益目的事業

（公益目的事業１）

公の施設を活用して、都市と農村との交流の場と機会及び憩いと安らぎの場と機会を提供するとともに、農業を始めとする産業の振興に寄与するための機会を提供する事業

- （1）都市と農村との交流及び憩いと安らぎの場の提供事業
- （2）都市と農村との交流の機会の提供事業
- （3）憩いと安らぎの機会の提供事業
- （4）農業を始めとする産業の振興に寄与するための機会の提供事業

【方針3】より快適で利用しやすい安心安全な施設への改修と整備
【方針7】観光拠点としての地域との連携

【方針1】園内外施設及びエリアの更なる活用
【方針2】四季を通して安定した来園者の獲得
【方針4】積極的な花とみどりに関する情報発信及び来園者との交流
【方針7】観光拠点としての地域との連携

（公益目的事業２）

地域の環境、特性に合う植物の育成研究及び品種改良に関する事業

- （5）地域の環境・特性に合う新品種導入に関する研究
- （6）地域の環境・特性に合う植物の改良・保存
- （7）希少品種及びオリジナル品種の育成・研究
- （8）特定植物保全拠点園としての植物収集・保全

【方針4】積極的な花とみどりに関する情報発信及び来園者との交流

収益事業

（収益事業）

物品販売に関する事業

- （9）直営店舗販売事業
- （10）販売委託事業

【方針1】園内外施設及びエリアの更なる活用
【方針5】魅力ある商品（モノ）及び体験（コト）の販売
【方針6】収益性の高い新しい事業へのチャレンジ

運営管理

（運営管理）

経営を支える人材育成と業務改革

- （11）人材育成
- （12）業務改革

【方針8】ウェルビーイング経営の推進

実施計画

（１）都市と農村の交流及び憩いと安らぎの場の提供事業（公益目的事業１）

方針	施策	管理項目	目標値				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
【方針３】 より快適で利用しやすい安心安全な施設への改修と整備	時代（トレンド）に合わせた魅力ある植栽エリアへリニューアル	実施件数	計画 前期見直し	実施・計画 （サマースノー）	実施・計画 （ムーンライト）	実施・計画 （スプリング）	実施・計画 （テラス）
	夏場でも楽しめる施設や設備の充実	達成状況	検討・試行	検討・試行	確定・実施	確定・実施	確定・実施
	雨天に対応できる施設や設備の充実	達成状況	方針検討	協議立案	協議立案	協議立案	協議立案
	施設強化や設備充実に関する立案・提言	達成状況	30周年リニューアル計画策定・実施計画提出	実施計画 提出・市調整	リニューアル 工事	リニューアル オープン	
	デジタル化などによる園内設備の利便性向上	達成状況	電子チケット推進	電子案内板 の検討	電子案内板 の設置	DX化によるサービス向上の検討	DX化の実施
【方針７】 観光拠点としての地域との連携	「道の駅」リニューアルに関する運営への参加	達成状況	協会案作成・ 市へ提言・協議	実施計画 へ提出	リニューアル 工事	リニューアル オープン	
	交通インフラ整備による利便性向上	達成状況	協会案作成・ 市へ提言・協議	実施計画 へ提出	リニューアル 工事	リニューアル オープン	

（２）都市と農村との交流の機会の提供事業　（公益目的事業１）

方針	施策	管理項目	目標値				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
【方針１】 園内外施設及びエリアの更なる活用	園内外施設及び エリアの更なる活用	達成状況	企画立案 ・試行	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所
	園内を活用した、幼児、児童向け体験プログラム及びイベントの実施	集客人数	企画試行 500人	1,000人	1,000人	1,200人	1,000人
【方針２】 四季を通して安定した来園者の獲得	恋人の聖地を活かした若者を引き寄せる企画の強化	集客人数	企画 試行 1,000人	1,000人	1,000人	1,200人	1,000人
	平日集客増加のための企画及び営業強化	集客人数	営業ツール の作成	平日の集客 前年比 102%	前年比 102%	前年比 102%	前年比 100%
	魅力ある開園30周年ソフト事業の企画	達成状況	情報収集及び 実施計画へ提出	企画書作成 及び実施計画へ 提出	予算書作成 及び実施計画へ 提出	実施	
【方針７】 観光拠点としての地域との連携	観光資源の掘り起こしによる来園者の獲得	実施件数	資源の掘り 起こし・試行	1件	1件	1件	1件

（３） 憩いと安らぎの機会の提供事業　（公益目的事業１）

方針	施策	管理項目	目標値				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
【方針４】 積極的な花とみどりに関する情報発信及び来園者との交流	園内の花とみどり、自然を感じられる（アウトドア）講座の開催と広報活動	講座数	企画 1講座	1講座	1講座	1講座	1講座
	園内の植物ガイドの充実及び普及	集客人数	190人 改善	200人 改善	210人 改善	220人 改善	230人 改善
	珍しい植物、話題性のある未公開の植物を展示	実施件数	5品種	5品種	5品種	5品種 （別途30周年特別展示）	5品種
	子どもを対象とした園芸講座及び教育プログラムの強化及び充実	実施件数	4回 新規1回	4回 新規1回	4回 新規1回	4回 新規1回	4回 新規1回
	宣伝方法の見直しによる情報発信の強化	フォロワー数 アクセス数	SNSフォロワー数前年比105%	SNSフォロワー数前年比105%	SNSフォロワー数前年比105% HPリニューアル	SNSフォロワー数前年比105% HPアクセス数前年比110%	SNSフォロワー数前年比105% HPアクセス数前年比105%

（４） 農業をはじめとする産業振興に寄与するための機会を提供する事業（公益目的事業１）

方針	施策	管理項目	目標値				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
【方針７】 観光拠点としての地域との連携	地域団体・企業と連携したイベント及び展示会の開催強化	実施件数	10件	10件	10件	12件	10件
	他団体及びメーカーとのコラボレーション企画の実施	実施件数	計画調整	1件	1件	1件	1件
	地元農産物を使用した新しい体験教室の強化充実	集客人数	企画試行	100人	100人	100人	100人
	園内資源（剪定枝、伐採木、落ち葉等）を活用したイベントや体験の実施	実施件数	企画試行	1回	1回	1回	1回

（５）～（８） 植物の育成と研究事業 （公益目的事業２）

方針	施策	管理項目	目標値				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
【方針４】 積極的な花とみどりに関する情報発信及び来園者との交流	新品種育成の取り組みと植物の公開（宿根・樹木の追加）	実施件数	5品種	5品種	5品種	5品種	5品種
	植物データベースの作成	達成状況	計画立案	フォーマット作成・試作	運用・改善	運用・改善	運用・改善

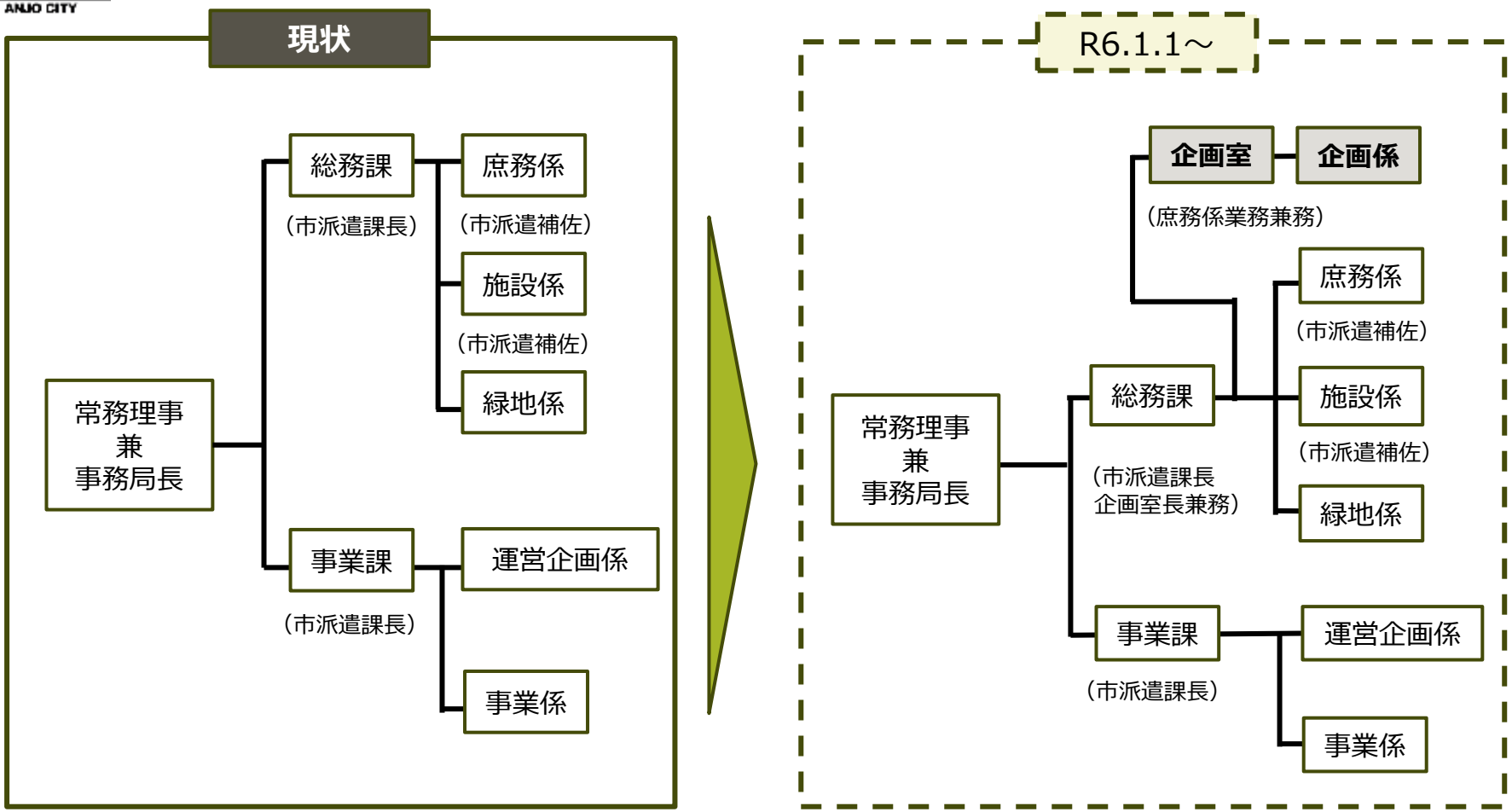
（９）～（１０） 物品販売に関する事業　（収益事業）

方針	施策	管理項目	目標値				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
【方針１】 園内外施設及び エリアの更なる活用	既存施設・エリアを有効活用した集客力のあるイベントの開催	集客人数	50,000人 （ディノランド）	50,000人	50,000人	50,000人	50,000人
【方針５】 魅力ある商品（モノ）及び体験（コト）の販売	集客力の高い魅力的な商品（モノ）の販売	販売額	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円	20,000 千円
	オリジナル商品の開発による販売強化	達成状況	企画開発	1品販売	企画開発	1品販売	企画開発
	魅力ある飲食新メニューの開発強化	実施件数	2品	2品	2品	4品	2品
	魅力ある体験（コト）の販売	販売額	3,500千円	3,500千円	3,500千円	3,500千円	3,500千円
【方針６】 収益性の高い新しい事業へのチャレンジ	収益性の高い新たな事業への取り組み	達成状況	研究方針	市協議	協議継続	協議継続	協議継続

（１１）～（１２） 経営を支える人材育成と業務改革　（運営管理）

方針	施策	管理項目	目標値				
			2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
【方針８】 ウェルビーイング経営の推進	計画的な人材育成	達成状況	研修体系及び人事評価制度の見直し	研修体系及び人事評価制度の確立	継続	評価・見直し	継続
	DX化による業務の効率化	達成状況	業務の課題抽出	対象業務の仕分け及び予算要求	予算獲得業務の導入	予算獲得業務の導入	予算獲得業務の導入
	組織編制の見直しによる業務の効率化	達成状況	業務の課題抽出	改善案の作成	導入	評価・見直し	評価・見直し

組織改編



協会の中長期戦略や企業や団体への対外営業を専門に担う部署を企画室として独立させ、テナントとの有機的な連携や今後見込まれる道の駅「デンパーク安城」の改修案件でのフロント等の業務も含めデンパークのポテンシャルを最大限活かす活動を実施

諸実績の推移①

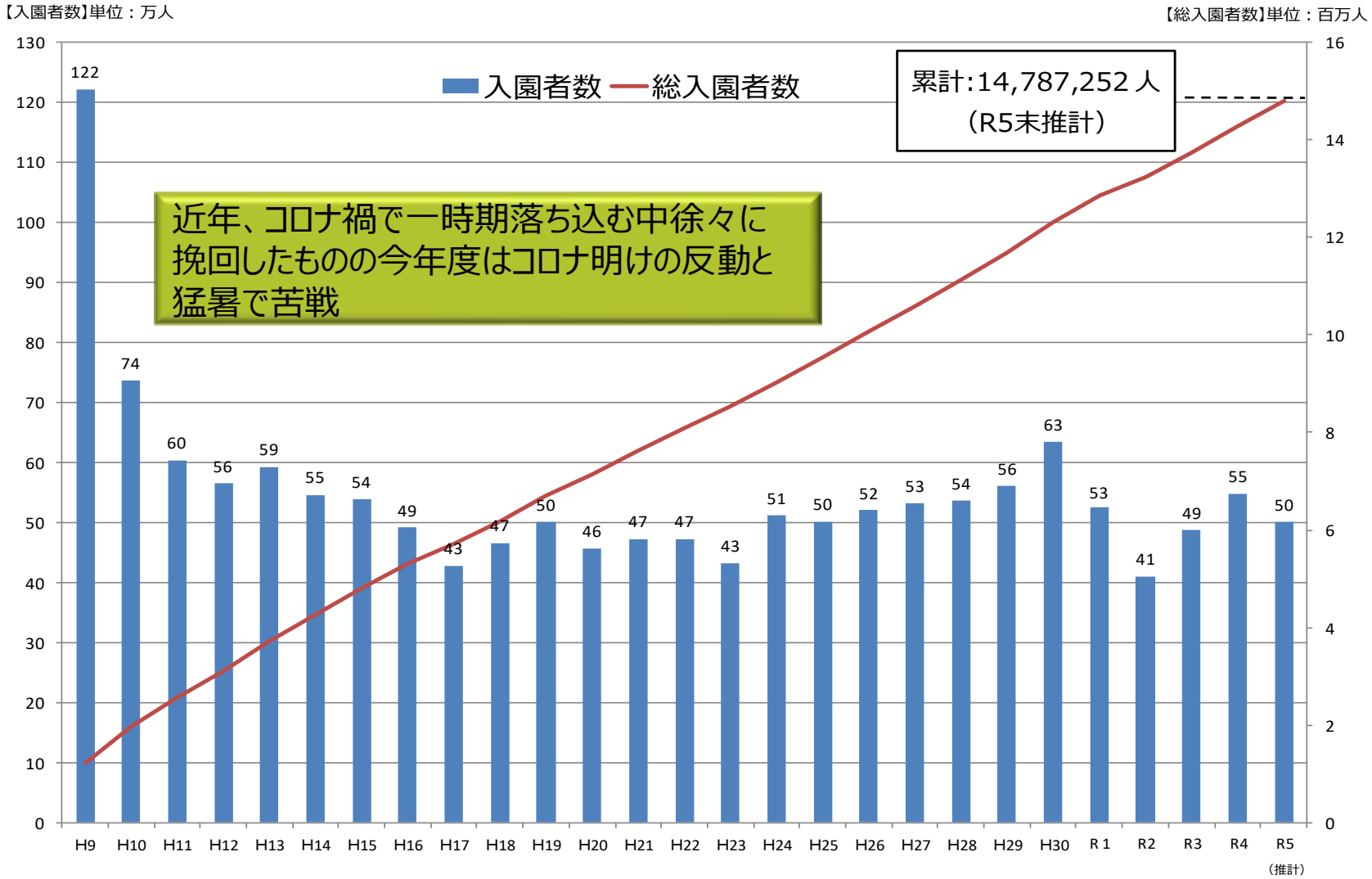


図１　開園以来の入園者数の推移

諸実績の推移②

夏季・冬季の底上げに注力しつつ、R9年度の開園30周年に向けた入園者数の漸増を図る

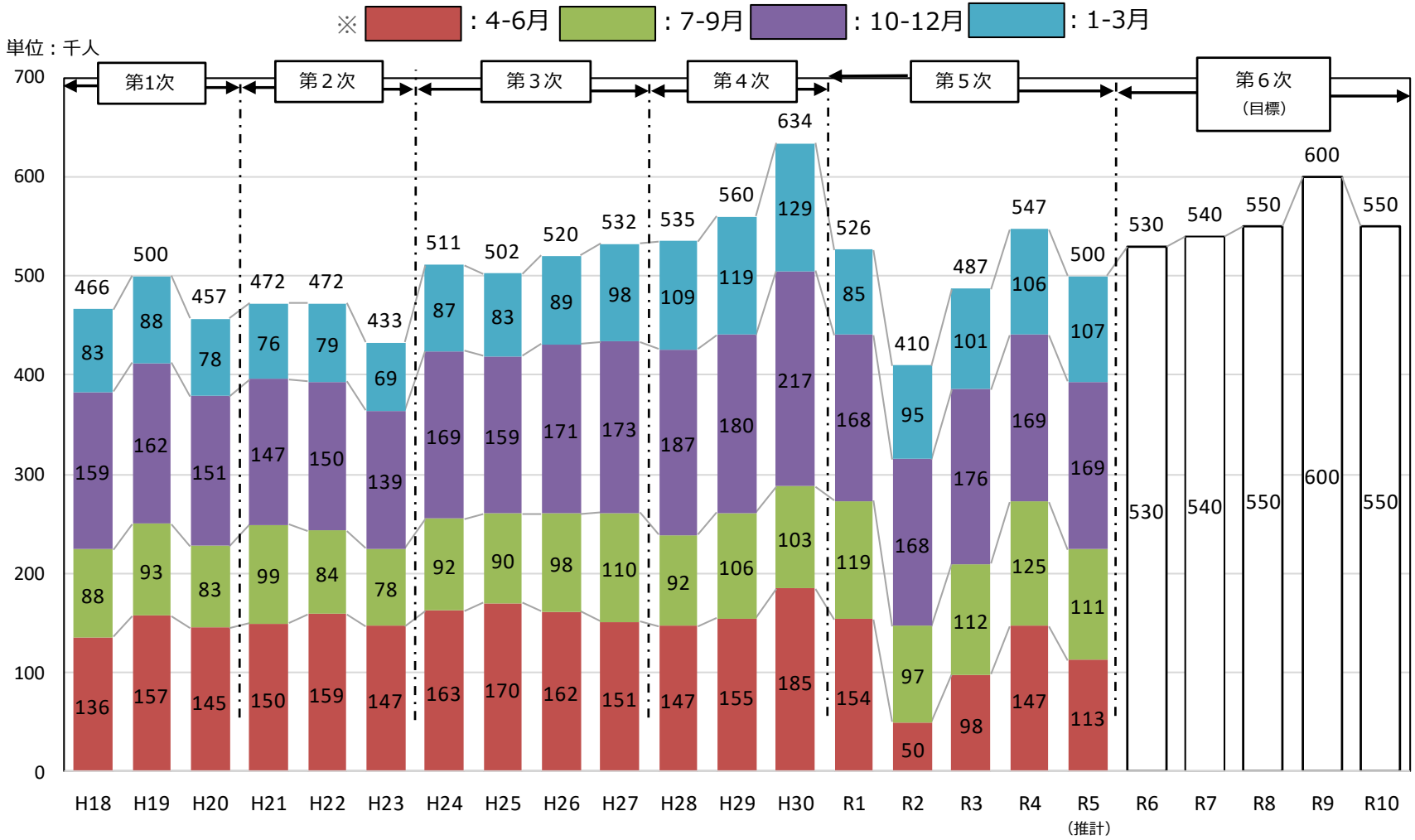


図２　各中期計画期間の入園者数の推移

諸実績の推移③

諸施策による収益増と人件費・光熱費増を見込んだ指定管理料割増により8億円超に拡大

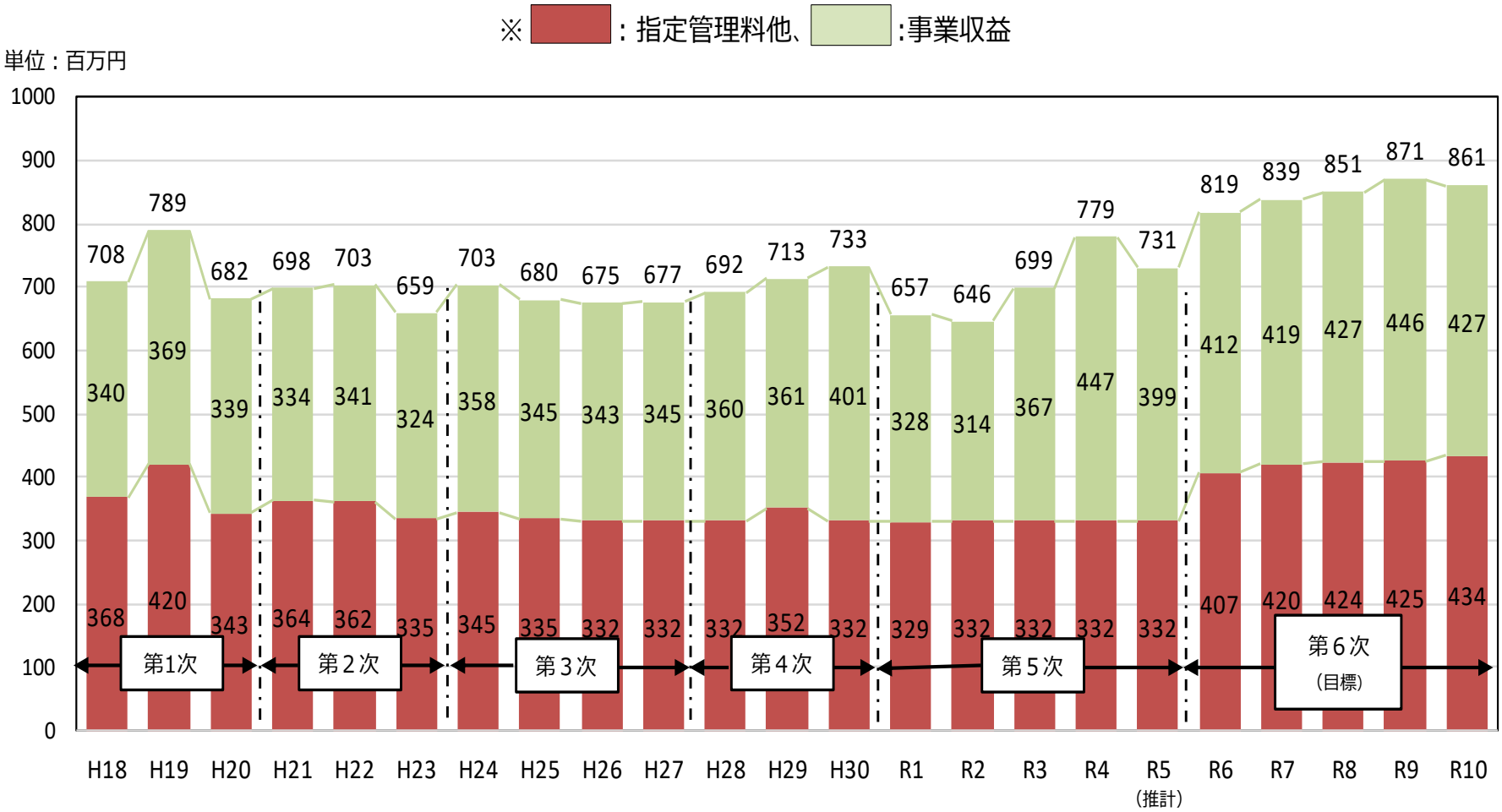


図３　各中期計画期間の経常収益の推移

諸実績の推移④

毎年実施に変更する来園者アンケートの満足度を重要目標値として積極的な向上を図る

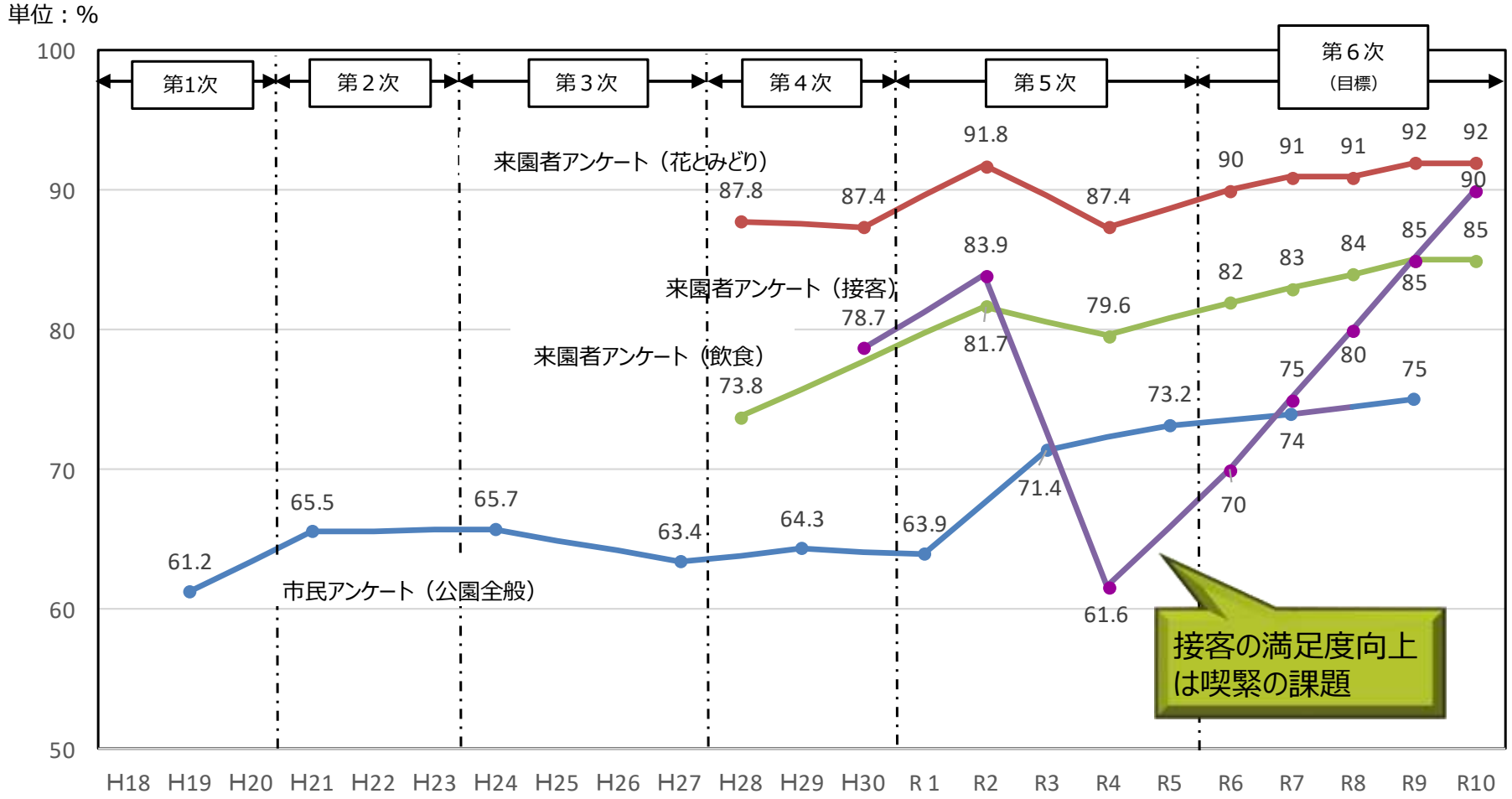


図４　各中期計画期間の顧客満足度の推移